

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		本部町観光拠点形成事業						
1	①	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ H33	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿い等に花の植え付けを行う。実施は、本部町観光協会へ委託する。植え付け作業は、町内の各種団体から成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	プランター植付の実施=1191基	プランター植付の完了=1191基	(今後の展開方針) 町内プランターに花の植え付けを行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	
1	②	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ H33	タイワンハブ等捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブ捕獲器を町内約350カ所に設置	ハブ捕獲数年間:250匹	(今後の展開方針) タイワンハブの分布状況の把握に努め、密集地帯の駆除を重点的に行い、個体数及び生息域の抑制を図る。	
1	③	伝統興行観光化事業	H25 ～ H31	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。また、闘牛舎及び付帯設備等を整備することで闘牛文化継承者の負担を軽減し、伝統興行の継承に寄与する。	・伝統興行の実施:2回 ・闘牛待機小屋の整備	・伝統興行の実施による観客数:1,245人(過去3年間の実績の平均値) ・闘牛待機小屋の整備完了:1棟	(今後の展開方針) 組合による伝統興行の継続的实施	
1	④	八重岳観光拠点整備事業	H25 ～ H30	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。また、八重岳桜の森公園内に遊具を整備し、年間を通し、観光客が訪れる環境作りを行う。	遊具設置工事の実施 1式	遊具設置工事の完了 1式	(今後の展開方針) H26年度～H30年度:法面崩壊防止のための排水路整備及び新たな拠点(広場)づくり H29年度:遊具設置 H30年度:親水性護岸整備及び東屋等設置 多様な利活用により観光客の入込数の増加につなげ地域の活性化を図る。	
1	⑤	観光漁業実証調査事業	H26 ～ H29	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここでしか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。	観光プログラムの実証 ・体験型観光の実施及びデータ収集	町内水産資源を活かした体験型観光の実施を行い、観光プログラムの構築に向けデータ収集を行う。	(今後の展開方針) 観光協会及び漁業協同組合と連携し事業展開する。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑥	インバウンド観光客受入環境向上事業	H29 ～ H32	急激な増加を見せる訪日外国人旅行(インバウンド)に対応するため、観光及び商業関連事業者向けの外国語講座などの人材育成、多言語ガイドブックの製作等を行う。	・語学研修の実施 ・多言語観光ガイドブックの製作	・語学研修の実施完了(2カ国語) ・多言語観光ガイドブックの製作完了【英語・韓国語・中国語(繁体字、簡体字)】	(今後の展開方針) ・訪日外国人旅行(インバウンド)に対応した着地型観光商品の開発 ・外国クルーズ船等の誘致及び来	
1	⑦	本部町フクギ集落整備事業	H25 ～ H29	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所である。今後の観光振興につなげるためにも、地域の集落景観の維持・保全等計画を推進するとともにフクギ集落の散策路を整備し、地域自然を有効活用した集落づくりに取り組む。	・フクギ集落の散策路の工事実施	・フクギ集落の散策路の工事の完了	(今後の展開方針) ・備瀬フクギ集落内の散策路等の整備 ・町や観光協会とフクギ集落地区のネットワーク強化 ・県内外旅行会社と連携したフクギ集落景観を活かした観光コースの検討	
2		本部町亜熱帯農業生産体制強化事業						
2	①	園芸農業防災施設整備事業	H24 ～ H29	沖縄県では台風の襲来や病虫害の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	ビニールハウスの整備件数:5件	ビニールハウスの活用により生産性の向上の体制整備	(今後の展開方針) ・自然災害による農作物被害の低減 ・施設整備による産地形成	
2	②	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ～ H29	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶ牛ブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入に対する補助を行う。	優良母牛導入の支援	優良母牛導入頭数:45頭	(今後の展開方針) 平成26～29年度にかけて各年度目標導入頭数:45頭	
2	③	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ H33	特産品生産者及び事業者の経営の安定化と産業の発展を図るため、販売支援員の配置、物産展等への出展など、本部町の地域の特性を活かした特産品の販路拡大を支援する。	・商工会への支援の実施(メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (県内物産展への出展支援(5回))	新規取引契約数10件/年 物産展等での販売目標 1回50万円×5回	メイドインもとぶ産品を県内外の流通経路にのせ、1次・2次産業の底上げを図る。	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	④	もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ～ H31	地場産業の育成・支援やもとぶ産商品の充実化を目的に、町内製造事業者のブランディング、製造環境の向上、町内事業者が連携した特産品開発の取組みに対して支援を行う。	・もとぶ産品製造事業所の支援(ブランディング) (製造環境の向上) (事業所連携による新たな特産品の開発)	もとぶ産特産品の開発・・・5件	(今後の展開方針) 平成29～31年度にかけて、もとぶ産品製造事業所の支援を実施 (中長期目標) H31に町内製造業の出荷金額をH26比で3%増加させる 工業統計調査:総出荷額 H22:5,590百万円 H26:5,715百万円(H22比+2%) H30:5,886百万円(目標年) 【支援対象事業所】 支援事業実施から4年後に売上総利益を4.5%以上増加させる	
3	①	モトブンチュ人材育成事業	H25 ～ H29	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	・伝統文化継承教室開催240回(三線、琉舞、沖縄民謡読み聞かせ、昔遊び、空手、やちむん絵付け、物作り) ・町内イベントでの体験型プレイショッ開催3回	教室目標参加者数 2,600人 体験型プレイショッ目標参加者数 800人	(今後の展開方針) H25～H29延利用者数 15,000人	
4		本部町教育環境整備事業						
4	①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ H33	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力向上を図るため、学習支援員の配置を行う。町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語及び算数・数学、及び必要に応じその他の主要教科において「授業支援」を行う。また計画的な「放課後支援」を行い学習の遅れている児童生徒へ習熟学習の支援を行い学力向上を図る。	・町立小学校 5校へ配置 ・町立中学校 2校へ配置	平成29年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -4.6ポイント以上 中学校 -2.5ポイント以上	(今後の展開方針) 成果目標の達成状況の分析及び支援方法の見直しを行いながら、平成31年度までに沖縄県学力到達度調査の県平均正答率との差を-2ポイント以内まで引上げを図る。	第6回目交付決定変更
4	②	本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ H33	夏休みを利用し、町内の中高生を英語圏へ短期間派遣し、ホームステイを実施する。生きた英語に触れることにより、今後の英語学習への意欲を高め、また異文化体験することにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(2週間)	事業実施後の英検合格率25%。	(今後の展開方針) 平成27年度から平成33年度まで毎年中高生を英語圏へ短期間派遣	

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			事業概要	H29事業内容		H29活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
4	③	学校ICT機器整備事業	H28 ～ H30	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力及び情報活用能力の向上を図るため、町内小中学校のICT環境整備(全教室及び職員室等の無線LAN整備、タブレットPC等の導入)及びICT活用支援員を配置し、ICT機器の活用によるICT教育の推進を通じ、児童生徒の学力及び情報活用能力の定着、向上を図る。	無線LANの環境整備 3校 タブレット等の購入設置 143台 大型モニタの購入設置 11台 ICT活用支援員 1名配置	本部町学力調査において対前年比で2ポイント向上。	H30年度までに、全小中学校にて無線LANの環境整備及びタブレット等の購入設置を行う。整備後においては本部町学力調査において対前年比で2ポイント向上を目標とする。		
4	④	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ H33	教育の振興を図るため、特別な支援を要する幼児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、個々に応じた適切に必要な支援を行う。特別支援教育支援員、スクールソーシャルワーカー、担任教師・教諭との連携による特別支援教育環境の向上、充実を推進する。	特別支援教育支援員 21名配置 スクールソーシャルワーカー 1名配置	特別な支援を要する幼児児童生徒へ支援の充足率70%。	対前年比で充足率5%向上を目標とする。		
4	⑤	音楽による人材育成・地域振興事業	H27 ～ H29	町内小中学校の吹奏楽部に対し吹奏楽楽器を購入することで、イベント等活動の幅が広がり児童生徒の活動意欲を高めることができる。 学校行事だけではなく地域行事などにも積極的に参加し、「武本部」の精神を養う人材を育むと共に地域振興にも寄与する。	本部小学校 吹奏楽器32個購入	演奏の幅が広がり学校行事だけでなく地域行事等でも積極的に演奏し地域住民との繋がりがもて地域振興につなげる。また、児童生徒の意欲情操向上を図ることを目標とする。 楽器購入後イベント参加数:3回	(今後の展開方針) 楽器整備後は、町内の祭りや式典イベント等へ積極的に参加し、地域一体となって人材育成や観光振興の向上を図る。		
5	①	本部型就業意識向上支援事業	H29 ～ H31	町内小中高校生の就業意識向上を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップを行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。また、企業プレゼン大会を開催し、企業側の町内人材活用への熱意や、魅力ある職場体験プログラムをPRすることで、より実践的なキャリア教育を実施する。	ジョブシャドウイング・職場体験・インターンシップの実施 教職員向けマナー研修の実施 企業プレゼン大会の実施	ジョブシャドウイング・職場体験・インターンシップを本部町内小中高校計9校で実施 教職員向けマナー研修の実施 4回 企業プレゼン大会の実施 1回	産学官の連携した協議会によるキャリア教育の継続的な実施。		
6		安心安全なまちづくり事業							
6	①	本部町配水安定化事業	H29 ～ H30	本部町の北部、上本部地域は海洋博公園を核として数多くの観光施設が存在している。この地域の水道は、本部町水道管理センターから嘉津宇配水池に圧送・自然流下することにより配水しているが、もし台風等により水道管理センターが停電すると、非常用電源の確保ができないうちに同配水池への圧送ができなくなり、結果として断水してしまう。そこで、同センターに非常用電源設備を設置し、停電発生時でも安定して配水することで、観光産業・住民生活のライフラインを確保する。	本部町水道管理センターにおける非常用電源設備の設計の実施	非常用電源設備の設計完了	(今後の展開方針) 設計に基づき、非常用電源設備の工事を行い、配水の安定化を図る。		

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				6	②			

H29活動目標(指標):平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H29成果目標(指標):平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。